

新しい“働き方”の取組み「ワークスタイル改革」の一環として 『スライドワーク（時差出勤）』を導入

—2018年3月1日（木）よりセブン&アイ・ホールディングス、
2018年4月以降セブン-イレブン・ジャパンにおいて開始—

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一以下セブン&アイ HD）は、2018年3月1日（木）より、本部勤務のフルタイム社員を対象に、始業時刻を選択制とする「スライドワーク（時差出勤）」の仕組みを導入いたします。また、セブン&アイ HD傘下の株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹、以下セブン-イレブン）においても、2018年4月以降、同様の仕組み※を導入する予定です。

昨今では、共働き世帯の増加や、核家族化など社会環境の変化を背景として、より柔軟でフレキシブルな働き方が求められております。そうした変化に対応すべく、今回の仕組みを採用することとなりました。

個人のライフスタイルに柔軟に対応し労働意欲を高めることや、働き方にメリハリを与え業務効率化と生産性向上を実現することが、導入の主な目的です。

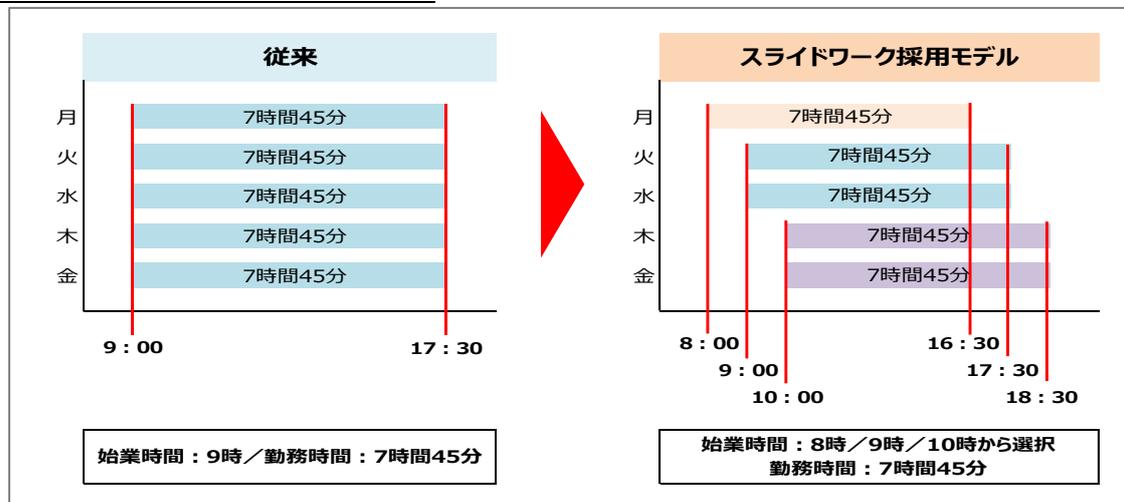
セブン&アイ・ホールディングスをはじめとするセブン&アイグループ各社は、社会における自らの役割を認識し、従業員が働きやすい会社や、暮らしやすい社会を目指し、ワークスタイルの改革を着実に推進してまいります。

※）基本的なモデルは同一としつつ、運用面など細部について会社ごとに異なる部分がございます

＜概要＞

- ◆実施日：セブン&アイ HD）2018年3月1日（木）～
セブン-イレブン）2018年4月以降（開始日は未定）
- ◆対象者：フルタイム社員
- ◆対象人数：セブン&アイ HD）約 500名
セブン-イレブン）約 9,000名
- ◆内容：対象社員は、基本就業時間である9：00～17：30に加えて、事前の申請を行うことで出勤日ごとに8：00～16：30、10：00～18：30の中から始業就業時間を選択できる。

◆「スライドワーク」の仕組み（イメージ）



以上